

名家連ニュース

令和7年7月2日(水)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 1045 号

令和7年度 第3回家族SST講座開催

今年度第3回家族SST講座が、6月28日(土)13時～、同朋大学成徳館3階にて、今回初めての参加者2名、大学院生1名を含めた参加者17名と吉田先生(同朋大学教授)、津端先生(SST協会会員、病院臨床心理士)とで催されました。



まずは、SSTとは社会生活スキルトレーニング、人付き合いのコツを

身につけることの説明。この講座での約束ごと、1. 批判し合うのではなく2. 嫌な時はパスできて3. ここでの話は他の場所では話さない。以上のことを津端先生が話されました。次に、自己紹介をいつものように先生方も全員で2周。1周目は「名前が嬉しかったこと」、2周目は「最近のわたし、最近の我が家」。吉田先生、津端先生が皆さんのお話しの中から題材を取り上げ、本題に入りました。

・ グループホームに入居中の娘さんから振り回されることがよくあり、近頃は「スマホが使えなくなったからお母さん買って…」との要望があって困っている母親の話し。

対応の仕方を次の様に吉田先生が話されました。

ステップ①その場で答えを出さず、立ち止まって考える。ステップ②何が問題かをはっきりさせる。ステップ③問題の解決策をあげる。ステップ④それぞれの案について実行可能か考える。ステップ⑤どの解決策にするか決める。ステップ⑥解決に必要な人、物を準備。ステップ⑦実行。

娘さんの今回のことについてをお母さんと参加者の皆さんとで検討しました。

・ 娘さん(10代)が、母親が仕事から帰宅すると一人で居る間の幻聴、幻視を母親に話し、それに対する対応が難しい。に対して、

否定しないで話を聴く。合う言葉を見つける。幻覚の中から別の楽しい場に引っ張り出す。一人で長時間家の中にいることで、幻覚が出やすいのでは?等々。以上が、辛い大変な数多くの経験をしてきた参加者の皆さんからの心配と同情を込めた助言でした。

最後に、津端先生から、病院には10代のデイケアも、また訪問看護もあるとのことでした。

次回第4回家族SST講座は、7月26日(土)13時30分～15時30分、同朋大学博聞館2階にて開催です。
(担当永松)